

令和5年  
5月号

あじさい園 ショートステイ

## ゆめあじさい

社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園

<http://www.aiisaien.or.jp/>



「んんんん、1日お風呂だよ」

むかしむかしのお話。

にんじんも、ごぼうもだいこんも、もともとはみんな同じ土のような色をしていました。泥んこのようにまっくらな3人は仲良く暮らしていました。

ある日、3人はお風呂をわかつて入ってみようということになりました。協力して水をくみ、火をたき、湯かげんをみます。さあ、どうやらお風呂がわいたようです。

「だれから入ろうか」だいこんがそう言うのと「ぼくが行くよー」とにんじんがザブンとお風呂に飛び込みました。ところが、

あまりに熱いのでびっくり。「おいおい、だいじょうぶかい」とだいこんが聞きますが、負けずぎらいの「にんじんは、

「それはぼくに聞いているのかい？これくらいなら、へっちゃらだよ。」とじこごがまんをします。

でも、ほんとうは熱くてたまりません。そのうちからだがまっくら、すっかりのぼせてしまいました。

その次に入ったのはごぼうです。じつはごぼうはたいへんな熱がり屋さん。「あっちうちー」お湯に入ったとたん「さういって、

「ごぼうさん、もう出るの？もつとあたたまらないとだめだよ。」だいこんとにんじんがさういっても、「ごぼうは聞く耳をもちません。

なにしろ、熱くてがまんできないのです。からだを洗わずにお湯から出てしまったので、泥んこのようなよじれが、

ついたままでした。最後に入ったのは、だいこんです。だいこんは、お風呂も好きでしたし、だれよりも、きれいな好きでした。

「ああ、いい気持ちだな。よし、きれいにからだを洗うぞ」だいこんははいねいに、からだを洗いはじめました。

「じこごじこごし」何度もくり返しからだをこすっているうちに、泥んこのような色からだは、まっしろになり、

肌もつるつるになりました。

こうして今も、ごぼうはまっくら、にんじんは赤く、だいこんは

まっしろなのです。



4月19日 食事会(春キャベツとたけのこの餃子)を行いました。

ご利用者様にも餃子の包みを手伝って頂き、それぞれ形の異なる餃子が出来上がりました。



平素、ご利用者さま、ご家族様、地域皆様には大変お世話になりありがとうございます。

藤やさつきが咲き、良い季節になりましたが、気温の変化も大きく、疲れの出やすい時期でもあります。

皆さまお身体お大事にお過ごしください。

ショートステイ主任 中久保 久仁